

●公立中高一貫校：適性検査1・2に最適な授業：●

●都立高校●大学受験の記述問題に最適なテキスト●

塾生の要旨要約実践レポート

◆使える!『徒然草』(齋藤孝/PHP新書)



『徒然草』を教科書では、「無常観に基づいて人生観を綴った随筆」と教える。しかし、それだけでは読みが浅い。現代人のコミュニケーションやビジネスにも使えるヒントが満載である。たとえば、「初心の人、二つの矢を持つ事なかれ」(初心者が二本の矢を持ってはいけない)という第九十二段では、「集中力を高める」秘訣を教える。また、「偽りても賢を学ばんを、賢といふべし」(たとえ本心でなくても賢人に学ぶ人が賢人である)という第八十五段では、真似ることによって技が磨かれるという。『徒然草』は上達論として読める古典なのだ。その他にも、「自分の得意技を持って」「眼力をつける」「知ったかぶりをしない」「嫌な気分を整理する方法」など、先人の智恵から多くのインスピレーションが得られる。「古典はムリヤリにでも自分にひきつけて“使う”というくらいの気持ちで迫るのがちょうどいい」と著者は語る。教科書では教えない「現代徒然草」の読み方を紹介する。

◆ナオキ君小学6年生(学習期間/修了学年)の場合◆

学習期間: 2020.12~2021.03/小学5年生

面白かった内容 TOP 3:

1. 勝とうと思うな、負けないようにしろ
2. 三人の先達を持つ
3. 勝手な行動が許されてしまう人

【ナオキ君の感想】

毎週1篇の課題を出せるのかという不安と、本の紹介にあった「徒然草を現代風に読む」という点に好奇心を持ってスタートしました。小3以上なら徒然草は読める、という記事を見たことがあったので、難しいという先入観はありませんでした。面白かった内容のTOP1は、「勝とうと思うな、負けないようにしろ」。僕はサッカーをしています、スポーツではとにかく勝とうと思う人が多い。けれど、負けないようにするのが大切なのだという点に、なるほどと思いました。

【ナオキ君からこれから学習を始める人へ】

目次を見て、一つでも興味をひかれるところがあったら、迷わず取り組んでください。

【ナオキ君のお母さんから】

徒然草を始めて少し経った頃から、息子が大人っぽいことを言うようになった、精神的に成長したと感じるようになりました。こちらから声をかけなくても、自分から進んで勉強をするようになったのも、この頃です。スパッと取り掛かっていたので、勉強の様子をあまり気にかけていませんでしたが、一日でできないときには数回に分けてまとめる作業をするなど、自分なりに工夫をして取り組んでいました。大人向けの本に好奇心を持ち、一度の提出漏れもなく取り組めた、この単元をやり切った感覚を身につけられたのは大きな成果だと思います。ある時、「世の中って無常だと思う?」と聞かれたことがあり、少し驚いたのですが、

「大欲と無欲は同じ」の項で「大金持ちになる方法」にも言及しており、「人生は無常だと悟ってはならない」という表現も出てきます。最終的に徒然草では、「大欲は無欲に似たり」と結論づけているのですが、自分でお金を稼いでメキシコに行くのが夢、という息子の机の前には、私の知らないうちに、この「大金持ちになる方法」の項が貼ってありました。

